

令和7年度 岩手県立岩谷堂高等学校
第1回学校運営協議会

1. 期日 令和7年6月9日(月) 14:00~15:00

2. 次第

(1) 開会のことば

(2) 学校長挨拶

(3) 参加者自己紹介

(4) 協議

ア 学校経営計画について

イ その他

(5) 説明

ア 学校概要について(教務課 生徒指導課 進路指導課)

イ 令和7年度岩谷堂高校教職員働き方改革アクションプランについて

(6) その他

(7) 閉会のことば

3. 意見交換・提言

- ・協議事案について、承認された。
- ・これまで中高連携として田植えや稲刈りなどを実施している。今後は実習にとどまらず、事前学習を充実させることで、中学生が米づくりの背景や意義を理解しながら体験できるようにしたい。
- ・岩谷堂高校の教員を中学校へ派遣し、キャリア教育に関する講座を開くことも検討したい。
- ・産業工学系列などにおいて、異校種間で継続的に連携し、生徒の視野を広げる重要な機会としたい。
- ・卒業研究発表に関しては、中学生が高校生の研究内容をより深く理解できるよう、プレゼンテーションだけでなく事前・事後指導を取り入れ、一緒に活動する楽しさを共有できる場を設定していきたい。
- ・学校評価アンケート結果では、生徒の自己肯定感が向上しているようである。生徒一人ひとりに対してきめ細かい指導がされているように感じている。
- ・岩谷堂高校の生徒は探究学習やボランティア活動を通じて地域と関わり、地域から見守られている。新たな地域づくりという視点から、将来地域に戻りたい、定住したいという生徒が育つことを期待する。今後も連携を強化していきたい。
- ・中学校では部活動加入率は減少傾向にあるが、岩谷堂高校にはウェイトリフティング部のように高校から競技を始め、インターハイを目指せる部活動があり、魅力的である。こうした特色も積極的に発信しながら、求められる役割を考え、連携を進めていきたい。
- ・県立高校の統廃合が進む中、岩谷堂高校の特色や総合学科6系列の強み、進路状況などを地元の中学生や保護者、地域に明確に発信する必要がある。高校説明会などを通じて、柔軟な対応力や多様な経験が得られる学校であることをPRしていくべきである。